

第6学年 国語科学習指導案

児童 6年1組 男子16名 女子18名

指導者 高橋 昭雄

- 1 単元名 この絵はすばらしい！ 名画のよさを解説しよう
- 2 学習材名
中心学習材 『鳥獣戯画』を読む (光村図書6年)
「この絵、わたしはこう見る」 (光村図書6年)
補助学習材 「おはなし名画シリーズ」「新おはなし名画シリーズ」(博雅堂出版)
「教科書に出てくる日本の画家」(汐文社)
「はじめてであう絵画の本」(あすなろ書房) 他
- 3 単元を貫く言語活動とその特徴

解説の文章から、絵のよさを伝えるためのものの見方や表現の工夫を読み取り、自分の考えを明確にして解説すること

本単元を貫く言語活動として「解説の文章から、絵のよさを伝えるための筆者の工夫を読み取り、自分の考えを明確にして解説すること」を位置付けた。筆者のものの見方とその対象が書かれている解説文の特徴を生かし、作品のよさを伝えるためのものの見方や表現の工夫を読み取り、絵画を解説する。そこで、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんじたりすること」(C読むことウ)を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

4 単元について

(1) 児童について

児童は、これまでに、段落相互の関連をとらえて読んだり、記事の比較、見出しや写真から記事の概要を予測したりする読み方を学んできた。6年生になって、「感情／生き物はつながりの中に」で「対話シートで考えよう～生きているとは、どういうことか～」の言語活動を通して、対話シートを活用して要旨や表現の工夫をとらえながら、自分の考えを明確にすることを学んだ。しかし、叙述に即して要旨や構成をとらえたり、筆者の主張や思い、表現の工夫を読み取ったりすることを苦手としている児童もおり、指導の必要がある。

そこで、この学習では、筆者の主張を大切に扱い、それを伝えるためにどのような表現の工夫がなされているのかを、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんじ力を付けさせたい。また、筆者のものの見方や考え方を生かして絵の解説文を書くことを通して、事実と感想、意見を区別して自分の考えを伝える力を付けさせたい。

(2) 指導について

中心学習材『鳥獣戯画』を読むは、「鳥獣戯画」の絵の解説と解釈、評価が述べられた説明的文章である。筆者のものの見方とその対象が明確に表されているため、筆者の見方をとらえやすく、自分の見方と比較することができる学習材である。また、書き出しや文末の表現の仕方、一枚の絵を切り離して提示する仕方など、筆者の工夫を学ぶのに適している。

「この絵、わたしはこう見る」は、記述例や着眼点・表現の例などが示されているので、絵画の成立背景や芸術理念を心得ていない児童でも、自分なりの感じ方で何かを感じ、想像の世界を膨らませながら解説文を書くことができる学習材である。

補助学習材は、絵画の解説の本である。解説文の特徴を押さえることができると同時に、いろいろな絵画にふれることができる学習材である。

単元を通して、次の三つを大切にしていきたい。

一つ目は、「単元のめあてを知り、学習の見通しをもつこと」である。絵画に興味をもたせるために筆者の作品や絵巻物を紹介することで、筆者の考えに共感させながら意欲的に読み進められるようにしたい。また、解説の文章の特徴をとらえることで、解説するための要素を読み取っていく

という見通しをもたせたい。

二つ目は、「筆者のものの見方について自分の考えを明確にすること」である。そこで、事実と感想、意見を区別しながら文章構成、要旨、表現の工夫を読み取ることで、筆者の主張がどこに書かれているかを理解できると考える。これは、児童の実態から力を引き上げる必要のある内容である。そのために、筆者のものの見方や考え方と自分のものの見方や考え方とを比較して表現の工夫をとらえさせたりして読むことや、着眼点、評価、表現の工夫の視点を与えたり、書き出しや文末表現をおさえたりすることで、表現の工夫や文章構成をとらえたりすることができるように指導していく。また、絵を見てはじめに感じたことと、中心学習材を読み取った後に感じたことを比較することで、自分の考えの深まりを実感させたい。

三つ目は、「友達の考えを知ることによって自分のものの見方を広げること」である。同じ絵画を選んだ児童同士で交流することで、いろいろな受け止め方があることを知り、ものの見方が広がるとともに交流のよさも感じさせたい。

本時は、筆者が「鳥獣戯画」のすばらしさや見どころはどこだと考えているのか、筆者の解説文のよさは何かについて自分の考えをもたせたい。その上で、筆者の解説文のよさをまとめ、交流し、ものの見方や考え方の広がりや深まりをもたせたい。また、次時から自分で解説文を書く際の視点となることを確認したい。

5 単元の指導目標

- 解説の文章を読んだり、解説したりすることに興味をもち、自分の考えを進んで伝えようとしている。
(関心・意欲・態度)
- ◎目的に応じて、事実と感想・意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる。
(読むことウ)
- 文章を読んで考えたことを交流し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
(読むことオ)
- 事実と感想、意見などを区別するとともに、見た絵の様子を簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。
(書くことウ)
- 文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(オ))

6 単元の評価規準

	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語文化についての知 識・理解・技能
おおむね満足できる状況	解説の文章を読んだり、解説したりすることに興味をもち、自分の考えを進んで伝えようとしている。	◎解説の文章に対する自分の考えをもつために、必要な内容を押さえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえたりして読んでいる。 ○解説の文章を読んで考えたことを交流し、自分の考えを広げたり深めたりしている。	絵から感じたことを伝えるために、事実と感想、意見などを区別して、解説の文章を書いている。	文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解して読んでいる。

7 単元の学習計画及び評価計画（読むこと 9時間）

段階	時間	学習活動・学習内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
見通す	1	1 学習内容をつかみ、学習計画を立てる。 ○解説文の特徴を知ること	○解説文の要素や特徴を考えさせる。	

		○学習の見通しをもつこと	○高畑氏の作品を紹介し、「絵を解説すること」に関心をもたせる。	関-「絵」や「絵を解説すること」に関心もち、学習の見通しをもっている。(発言・シート)
		この絵はすばらしい！ 名画のよさを解説しよう。	○学習計画を立てること	
深める	2	2 『鳥獣戯画』を読む」を読み、感想をもつ。 ○全文を読み、感想を交流すること	○鳥獣戯画の一場面を見て、自分なりに解説させる。 ○全文を読み、高畑氏の解説についての感想をもたせる。	読-考えを効果的に伝えるための表現や構成の工夫について考えている。(発言・シート)
	3	3 要旨をとらえる。 ○筆者の考えを伝えるための工夫について読み取り要旨をとらえること	○文章構成や小見出しを考えさせ、要旨をとらえさせる。 ○書きだし、文末表現、実況中継のような表現などに着目させる。	
	4	4 筆者の着眼点、評価、表現の工夫についてとらえる。 ○絵と文章を照らし合わせながら読み、筆者のものの見方をとらえること	○絵のどの部分を取り上げ、どう評価しているかに着目させる。	
5 本時	5	5 筆者の解説文のよさをとらえ、まとめる。 ○鳥獣戯画のすばらしさや見どころ、自分の解説と比べて、筆者の解説文のよさをとらえること	○筆者の解説文のよさをまとめ、交流することで、ものの見方や考え方の広がりや深まりをもたせることと、自分で解説文を書く際の視点となることを確認する。	言-筆者の考えと自分の考え、事実と自分の考えを意識して書き分けている。(ワークシート)
広げる	6	6 「この絵、わたしはこう見る」を読み、解説文を書くことについて確かめる。 ○選んだ理由や作品のよさ、作者についてまとめること	○解説文を書いて掲示するという目的を確認する。 ○自分の選んだ絵画について選んだ理由や作者についてまとめさせる。	書-目的に合った絵を選び、自分なりの見方を整理している。(シート)
	7	7 自分が選んだ絵の細部について、着眼点、評価を整理するこ	○名画のよさについて、着眼点、評価をワークシートにまとめさ	

	と ○表現を工夫しながら、解説文の下書きをすること	せる。 ○中心学習材や教科書 P144, 145 の解説の記述例を参考に、書き出しや表現を工夫させる。	
8	8 絵から読み取ったこと、感じたことを解説文に表す。 ○表現の効果を考えながら、解説文を書くこと	○構成や文章表現を工夫しながら、400 字程度にまとめさせる。	書—表現や構成を工夫しながら解説文を書いている。(解説文)
9	9 完成した解説文を読み合い、感想を交流する。 ○絵の見方や表現のよさを伝え合うこと ○学習の振り返りをする	○絵のどこに着目し、どんな表現の工夫をしたのかを交流させ、着眼点や表現の工夫の違いに気付かせる。 ○この単元の学習で、どんな力が付いたのか、振り返りをさせる。	関—絵から読み取ったことを進んで伝え合おうとしている。(交流・振り返り) 言—語句と語句との関係を理解している。(振り返り)

8 本時の学習 (5 / 9)

(1) 目標 筆者の解説文のよさをとらえ、まとめることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	学習内容 (◎主発問)	指導と評価のための工夫
導入 5	1 学習課題を確かめる。	○前時の学習内容を想起し、学習課題への目的意識をもつこと	・本時の学習の課題と流れを確認し、一人一人が自分の考えを大切にしながらまとめる学習であることを確認する。
	筆者の解説文のよさをとらえ、まとめよう		
展開	2 学習の見通しをもつ。		
	3 筆者の解説文のよさをとらえ、まとめる。	◎筆者の解説文のよさをとらえ、まとめましょう。 ○鳥獣戯画のすばらしさや見どころは、どこだと述べているか考えをまとめること ・ 12 世紀に描かれ、今日に伝えられている。 ・ 生き生きと描かれている。 ・ 絵の力を使って物語を語っている。 ○筆者の解説文のよさをとらえること ・ 鳥獣戯画への強い思い ・ 高い観察力	・ 鳥獣戯画のすばらしさや見どころを筆者がどこだと述べているかを自分なりにとらえてから、それを解説するためのよさについて考えさせる。 ・ まとめることが困難な児童には、学習してきたことを具体的にふり返らせる。

35	<p>4 筆者のものの見方や考え方のよさを生かし、解説する。</p> <p>(1) グループ交流をする。</p> <p>(2) 全体交流をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな文章表現 ・ 文章構成の工夫 <p>○ 筆者の解説文のよさに沿って、鳥獣戯画の他の場面を解説すること</p> <p>◎ 友だちの解説に、筆者の解説文のよさがどのように生かされているか、気をつけて交流しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付け足しや書き直しは、朱書きさせる。 ・ 聞く側は、個人内の変容や気付きなどを話させるようにする。 <div data-bbox="1062 658 1447 1032" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈評価規準〉</p> <p>鳥獣戯画のすばらしさや見どころを伝えるための筆者の解説文のよさをとらえ、交流し、まとめている。</p> <p>(ワークシート・観察)</p> </div>
終末 5	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <p>6 次時の学習を確認する。</p>	<p>○ 振り返りシートを使って、自己評価すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の解説文のよさをとらえ、まとめることができたかを評価させる。 ・ 次時から自分で選んだ絵画の解説文を書く際の視点にすることを確認する。

(3) 板書計画

鳥獣戯画
絵巻物

この絵はすばらしい！名画のよさを解説しよう

『鳥獣戯画』を読む

高畑 勲

筆者の解説文のよさをとらえ、まとめよう

一、鳥獣戯画のすばらしさをやみどころはどこだと筆者は述べているかを考える。

二、筆者の解説文のよさをとらえ、まとめる。

- ・ 自分の解説文と比べて
- ・ 学習をふり返って

三、筆者の解説文のよさを生かして、解説する。

- ・ グループ交流
- ・ 全体交流

四、ふり返りをする。

